

SATREPS 行動記(その 2)

平成 26 年に国際資源学部の石山大三教授をリーダーとする SATREPS (地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム:http://www.jst.go.jp/global/kadai/h2603_serbia.html)が採択され, 本年は8月15日~9月8日までセルビア共和国に派遣されました. 今年の私の任務は供与した分析機器の動作確認と精度チェック, それに加えて先にセルビアに送付してあったSATREPSグループ全体の消耗品のリスト作成です.

昨年は野外調査が主な任務でしたが, 今年は全て屋内での作業となりました. 分析機器の動作確認と精度チェックでは, 昨年から一緒に作業を行っているカウンターパートもいれば, 初めてお会いする方々もおり, 賑やかながら楽しく作業をこなす事が出来ました. そのような雰囲気の中, 初めて導入された機器に関しては興味深く, 一つ一つ丁寧に学ぶ姿勢が, 一方では更新機器に関してはラボ内のノウハウを生かしながらも効率と精度について時には激しく意見を交換しあった事が印象に残っています.

プライベートでも「日本から来た大切な友人」として隣町のビアホールまで連れて行ってもらったり, ホームパーティに招待されたり等手厚い歓迎を受けました. 短い間でしたがボール市のゆったりと流れる時間を楽しむ生活も素敵だと感じながら帰路につきました.



カウンターパートの皆さんと